

(生産局長賞)

(有)まるせい果樹園

～GAP認証の取得を社員教育等に活用！震災から復興した果樹園経営～

<基本情報>

所在地：福島県福島市
設立：平成13年
構成員：役員3名、社員4名
パート：11名

<経営概要>

経営面積：約8ha
主要作物：さくらんぼ、もも、りんご、かき、
ぶどう、西洋なし、日本なし
販売先：観光農園(直売所・カフェ)
小売(イオンリテール他)
総売上額：約9千万円(H28年)
取得認証：ASIAGAP Ver.2(青果物)、GLOBALG.A.P.(青果物)
※認証品目は主要作物に同じ(うちGLOBALG.A.P.は下線のもの)



<GAP認証取得の状況>

平成25年6月 安全性をPRする手段としてJGAP認証を取得
平成28年12月 GLOBALG.A.P.認証を取得
平成29年12月 ASIAGAPVer.2認証を取得

<GAP認証取得のきっかけ>

福島第一原発事故による風評被害(売上低迷:前年比54%)

農業継続の手段を模索

JGAP認証を発見・取得
(第三者の審査による客観的な証明)

安全性のPR+従業員に自信

震災前を上回る規模まで売上回復！経営改善にも効果

(売上高: H22年約7.7千万円→H23年約4.3千万円(H22年比54%) H28年約9.1千万円(H22年比118%))

<GAPの取組による経営改善>

○作業負担軽減の取組

農薬記録簿や作業台帳をチェック式に簡素化、果樹1本ずつに番号付けし果樹特定の容易化、平易な文章によるマニュアル整備等

○社員のモチベーション向上の取組

各役割ごとに責任者を置き、明確な責任を付与
また、社員教育として、社員全員(4名)にGAPの専門研修を受講させたこと及び認証審査を受けさせたことで、社員の改善意識向上

→自主的に改善策を発案・実施！

《主な責任者の配置体制》

《主な改善策の内容・成果》

包装資材責任者

不要な包装資材を別の果物に転用し、在庫削減
→ **容器包装費を削減**
H22年約2.9百万円 → H28年2.5百万円(14%減)

農産物取扱い施設の管理責任者

据え置き型のルーベの設置により、高齢者でも果物の瑕疵を容易に確認できる体制を整備
→ 安定した品質確保により、**クレームが低減**

農薬管理責任者

農薬の発注方法変更(予約注文時の購入量を抑制。実際に不足した分のみ追加購入)
→ 購入総量の減少により**農薬費を削減**
H22年約2.7百万円 → H28年約1.6百万円(40%減)

これらの取組により、全体の資材コストが震災前と比較し**28%減**(H22年約6.9百万円→H28年約5百万円)

社員が経営改善に大きく貢献！

→GAP認証の取得は、効果的な社員教育の手段としても有効

<GAP認証の取得によって得られたもの>

安全性を担保された農産物であると取引先に評価され、販売表記が「福島県産のりんご」から「まるせい果樹園のりんご」へ → **知名度向上**

⇒取引先や顧客の意識が「復興支援からまるせい果樹園への信頼」へ